

※かかりつけの医師の診断に基づき、「インフルエンザ登園許可の願い」の記載をお願いします。
なお、こども園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

※登園の際には、下記の「インフルエンザ登園許可願い」の提出をお願いします。

(登園のめやすは、子どもの全身状態が良好であることが基準となります)

<保護者記入用>

インフルエンザ登園許可願い(保護者記入用)

古蔵こども園 園長

児童氏名 _____

生年月日 _____

令和 年 月 日医療機関名 _____ において

病名 インフルエンザ と診断されました。

令和 年 月 日現在、下記のとおり、
「発症後 5 日を経過し、解熱した後 3 日間」を経過しましたので、
登園の許可をお願いいたします。

保護者氏名 _____ 印

	体温測定月日	朝の体温	夕の体温	解熱薬使用の有無
発症日	月 日	時 分 度	時 分 度	無 ・ 有
1日目	月 日	時 分 度	時 分 度	無 ・ 有
2日目	月 日	時 分 度	時 分 度	無 ・ 有
3日目	月 日	時 分 度	時 分 度	無 ・ 有
4日目	月 日	時 分 度	時 分 度	無 ・ 有
5日目	月 日	時 分 度	時 分 度	無 ・ 有
6日目	月 日	時 分 度	時 分 度	無 ・ 有
7日目	月 日	時 分 度	時 分 度	無 ・ 有
8日目	月 日	時 分 度	時 分 度	無 ・ 有

(発熱期間が長く記録できない場合は、別の記録用紙を添付するなどしてください)

保護者の方へ

※この報告書提出の際には、**インフルエンザによる受診がわかる内容が明記された医療機関・調剤薬局発行書類(領収書・明細書・検査結果・処方箋が記載されたもののうちいずれか)のコピーを添付してください。**



<冬に注意したい感染症インフルエンザ>



インフルエンザは「インフルエンザウイルス」に感染することによって発症します。突然の高熱が出現し、頭痛、関節痛、全身のだるさなどの全身症状を伴い、のどの痛み、咳など呼吸器症状も出てきます。

*感染経路: 飛沫感染→咳やくしゃみをしたときに飛び散ったウイルスを近くの人が吸い込む
接触感染→ウイルスが付着した手で口や鼻、目などに触れることで体内に侵入

*潜伏期間: 1 ~4 日(平均 2 日)

*合併症: 肺炎、中耳炎、熱性けいれん、脳症

*予防対策

予防接種

予防接種は重症化を防ぎます。効果は接種 2 週間後～5 カ月持続します。流行する前の 12 月中旬頃には接種を終わめしょう。

マスク

咳をしている人は、感染を広げないためにマスクをしましょう。(マスクの着脱が可能な年齢の児童、大人)

手洗い

丁寧に手を洗いましょう。(インフルエンザにはアルコール手指消毒も効果的です。)

<登園基準:発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日後(幼児の場合)を経過するまで>

*(1)

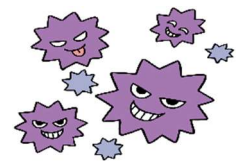
*(2)

* (1) 発症日数の数え方は、発症した日(発熱が始まった日)は含まず、翌日を第 1 日とします。

* (2) 解熱後の日数の数え方は、解熱した日は数えず、翌日を 1 日目とします。

例 発症後 2 日目に解熱した場合

発症日	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目
発熱	発熱	解熱	解熱 1 日目	解熱 2 日目	解熱 3 日目	登園 可能



例 発症後 4 日目に解熱した場合

発症日	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目	8 日目
発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱 1 日目	解熱 2 日目	解熱 3 日目	登園 可能

☆再登園の際には、「インフルエンザ登園許可願い(保護者記入)」を園へ提出する必要があります。

(裏面参照)必要時、コピーしてご使用ください。

※こども園は幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぎ、子どもたちが一日快適に生活できるよう環境を整える事が大切です。